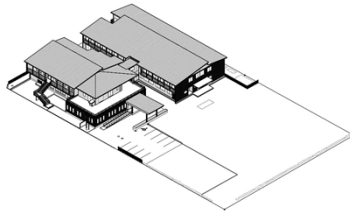

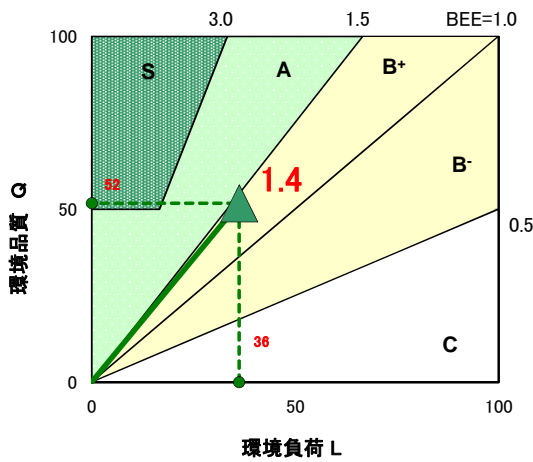



CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	菊池園	階数	地上2F		
建設地	熊本県菊池市泗水町吉富17-1、2	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内 未線引き区域	平均居住人員	75 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月20日		
敷地面積	4,944 m ²	作成者			
建築面積	1,414 m ²	確認日	2016年7月30日		
延床面積	2,379 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
		BEE = 1.4																																	
		BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$																																	
■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)		■ 環境効率評価基準																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ランク</th> <th rowspan="2">ランク表示</th> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">判定値</th> </tr> <tr> <th>BEE値</th> <th>Q値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>★★★★★</td> <td>素晴らしい</td> <td>3.0以上</td> <td>50以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>★★★★</td> <td>大変良い</td> <td>1.5以上3.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B⁺</td> <td>★★★</td> <td>良い</td> <td>1.0以上1.5未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B⁻</td> <td>★★</td> <td>やや劣る</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★</td> <td>劣る</td> <td>0.5未満</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
排出率		■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準																																	
59%		<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(排出率)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30%以下</td> <td>☆☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>30%超60%以下</td> <td>☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>60%超80%以下</td> <td>☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>80%超100%以下</td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>100%超</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		

2 熊本県重点評価結果

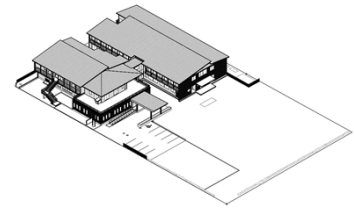
■ 重点事項総合評価		評価点													
		82													
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	88.0	■ 熊本県重点評価基準													
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	71.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示														
100点以上															
80点以上100点未満															
60点以上80点未満															
40点以上60点未満															
40点未満															
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	77.5														
【重点事項4】 循環型社会の実現	85.3														

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	菊池園	階数	地上2F
建設地	熊本県菊池市泗水町吉富17-1、2	構造	S造
用途地域	都市計画区域内 未線引き区域	平均居住人員	75 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月20日
敷地面積	4,944 m ²	作成者	
建築面積	1,414 m ²	確認日	2016年7月30日
延床面積	2,379 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)
②建築物の取組み	59%
③上記+②以外の	59%
④上記+	59%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.1
光・視環境	2.5
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	2.8
耐用性・信頼性	3.8
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.0
効率的運用	2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	3.6
汚染物質回避	3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

地球温暖化への配慮	4.6
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.0

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 82**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 88.0**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 71.2**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 77.5**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 85.3**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

生活保護法による生活支援施設であるため、居住環境に配慮した低層2階建てとしている。周辺環境は北と西に工場が立地し、南と東が住宅地になっている。建物配置は既設位置に近く周辺環境に最も影響が少ない北西側に配置している。

Q1 室内環境

入居者の居住スペースは北棟とし、落ち着いた環境とし、大半をテラス窓とし、2階はバルコニーを設けることで開放的で明るい室内環境としている。東側の談話室や南棟の地域交流室、食堂は全員が集合できる広さを持ち、南向きで開放的な計画としている。

Q2 サービス性能

廊下幅は有効で1800mm以上あり、中央部にトイレを配置し、どの居室からも使い易くしている。介護職員室を建物中央に置くことで、管理し易く入居者へ対応が行き届くように計画した。夜間の監理も介護職員室に専用階段を設置することで、緊急対応にも配慮した計画としている。

Q3 室外環境（敷地内）

東側に空地があり、ゲートポールや菜園を作るスペースがあり、既存の樹木や新たな緑地帯を設けることで、環境の保全を行う設計としている。

LR1 エネルギー

断熱性能を上げ、引違窓を多用することで、通風の確保を行っている。

LR2 資源・マテリアル

再生可能な建材を使う事、メンテナンスが極力小さい床材を使うなど、配慮している。

LR3 敷地外環境

低層にすることと、周辺住宅地側に空地を設けることで、圧迫感のない計画としている。

その他

仮設建物を平屋建てとし、地盤改良杭を使わず、極力現況の環境を守るようにしている。雨水関係は浸透式とすることで、地下水の保全に役経つように計画している。

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40		-	2.8
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.1	0.35	2.0	1.00	2.1
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		ゾーン別の空調制御可能機器を導入		4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				2.2	0.25	3.6	1.00	2.5
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		共用部:7.3% 宿泊部:2.5%		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御		庇、カーテンの設置		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				1.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				1.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		基準法の換気量1.4倍		5.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		自然有効換気面積1/10以上		3.0	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				2.8	0.40	2.8	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		天井高:2.5m以上		3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上げ等		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃流し、PSの設置等		5.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.8	0.30	-	-	3.8
2.1 耐震・免震				4.6	0.50	-	-	
1 耐震性		水平保持力1.5倍を確保		5.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		等級2		4.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.5	0.30	2.9	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	2.8	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	比率0.20,0.28	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			4.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	構造・下げ材を痛めることなく、更新・修繕可能。	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造・下げ材を痛めることなく、更新・修繕可能。	5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造・下げ材を痛めることなく、更新・修繕可能。	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	構造・下げ材を痛めることなく、更新・修繕可能。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	更新修繕時に機能を維持	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	スペースあり	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺環境との調和に配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.70	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.51 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.51	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水タンク設置	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		パーティクルボード:置床 木質系セメント板:屋根 タイル:外装	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材を容易に分離可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定化学物質を使用しない建材が4種以上	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率 59%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場の設置等	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	公害対策ガイドライン過半	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

建物名称 菊池園

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		82
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				88	0.40	35.20
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.4	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				71.2	0.20	14.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	5.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	4.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				85.3	0.20	17.06
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数